（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ELEVAR亀岡			
○保護者評価実施期間	令和8年9月18日	～	令和8年10月3日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	42	（回答者数）	33
○従業者評価実施期間	令和8年9月28日	～	令和8年10月3日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年10月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムや具体的な支援内容について、保護者様への説明を行い、連携しながら共に支援を進めていくことを大切にしています。支援内容は、お子さま一人ひとりの日々の実態や変化に合わせて随時見直しを行い、画一的・固定的な支援に陥ることのないよう、常に柔軟で最適なアプローチを心がけています。	支援にあたっては、日頃の様子や個性を深く理解している「専任の担当者」が中心となり、お子さまたちに合わせた活動内容を計画するようにしています。また、担当者の主観に偏らないよう、職員全体で内容の定期的な見直しや修正を重ね、常に客観的で最適な支援を提供できるよう努めているところです。	ホームページやSNSを活用した、日々の支援の様子や支援グッズの積極的な発信を今後も継続してきます。 保護者の皆さまがご家庭で実践されている支援内容や工夫も取り入れながら、多様な視点や情報を幅広く集め、より豊かで充実した支援へとつなげていければと考えています。
2	支援を進めていく上で、保護者様との連携を大切な要素の一つとして意識しており、定期的な面談や、日々の助言・情報共有などを通じ、同じ方向を向いて歩めるような体制づくりを心がけています。多くの保護者様から共感や温かいお声をいただく機会もあり、日々の支援へのご理解や、ご協力をいただきやすい関係づくりに繋がっていければと考えています。	定期的な面談だけでなく、必要に応じて電話やLINE等による迅速な連絡体制を整え、いつでも密に連携できる環境づくりを心がけています。日頃から相談支援専門員とも情報共有を重ね、外部機関と一丸となって保護者の皆さまが安心できる支援を提供できるよう意識して取り組んでいます。	保護者様との連携の仕組みとして、現在はLINEと電話が中心となっているものの、細かいことや表情が伝わりにくい状況もあることから、今後はオンラインを活用した面談等も選択肢に取り入れることで、さらに連携を密にしていきたいと考えています。
3	お子さまたちが安心して来所し、楽しみながら日々の活動に取り組めるよう、活動内容の検討や事前準備を心がけています。「次もまた来たい」という期待感を育み、高い活動意欲を持って主体的に参加できる環境をつくることが、より効果的な支援に繋がっていくのではないかと考えています。	祝日や長期休暇期間中には特別なイベントを開催し、日常とは少し違う体験や、普段は一歩を踏み出せないことにも挑戦できる場を設けています。こうした活動を通じて、子どもたちが「楽しかった」「できた」という成功体験を積み重ね、自信に繋げられるような機会の創出を目指しています。	恒例企画を継続しながらも、新たな経験が積めるよう多様な企画にも挑戦していければと考えています。今後は地域の人々との触れ合いや社会体験を通じて、お子さまたちの可能性をさらに広げ、より豊かで充実した支援へとつなげていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様向けの学習会・交流会の開催や、ごきょうだいも含めたご家族全員で参加できるイベントの企画など、多角的な支援の実施がまだ限定的になりがちです。こうした家族支援を専門的かつ安全に展開していくために、さらなる専門性の追求や、事業所全体の研修体制の拡充を図っていく必要があると捉えています。	交流会や学習会等の開催時期の見通しを、計画的・継続的に進める体制を構築していき、これらをより多角的に企画・運営していくための、ノウハウの蓄積や更なるスキルアップの機会を作っていくことを推進してまいります。	職員の技術向上に向けた研修の充実を進めつつ、それと並行して保護者様とともに交流会や学習会を計画していくなど、お子さまの支援に向けて保護者様と一体となった仕組みづくりを少しずつ進めていければと考えています。
2	活動が事業所内に留まりがちな側面があるので、今後は地域のお子さまたちや高齢者の方々との交流も思案し、地域に根差した支援を考慮しています。また、直接の交流が難しい場面においては、ＩＣＴ機器の環境整備や導入を図り、物理的な制約を越えた多様な体験機会を創出していく方向で検討しています。	これまでは事業所内での支援を中心に取り組んでまいりましたが、今後は近隣関係施設等との具体的な連携計画や、交流に向けた細かなアイデアを形にするプロセスを、段階的に企画・進行してまいります。	日々の支援の中に地域と触れ合えるような機会を少しずつ取り入れていければと考えています。さらに、今後は保護者様ともご無理のない範囲で一緒に参加できるような形を視野に入れながら、地域交流を意識した計画を進めてまいります。
3	各種対応マニュアルについては策定しているものの、保護者の皆さまへの周知や職員間での周知も考慮し、利用関係者を問わず誰もが直感的に理解できるような分かりやすい情報発信に努め、この取り組みを非常災害時の迅速な対応にも活かせる体制づくりへ繋げていきたいと考えています。	各種マニュアルの確認を日頃からよりスムーズに共有・実践できるような環境づくりや、安心安全な運営に向けた保護者様との情報共有・周知のあり方については、日々の運営の中で多様な視点を取り入れながら、より良い体制を整えていくプロセスにあると捉えています。	HPやSNSを活用した発信、あるいはオンラインを用いた勉強会や保護者学習会などの機会を通じ、マニュアルや安全管理についての共有や、皆さまと一緒に安心安全を高め合えるような仕組みづくりを検討していければと考えています。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ＥＬＥＶＡＲ亀岡

公表日　年月日　2026年10月24日

対象児童数　42　回収数　33

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	8	3	3	活動中の様子が分かりにくい。 もっと広い場所があればよいとは思います。 公園や体育館等で時には広い場所で体を動かせる機会があれば良いなと思います。	室内では「静かに過ごすエリア」と「身体を動かすエリア」のコーナー分けを明確にし、空間を有効活用します。天候や児童の体調に応じ、近隣の公園や体育館等へ出かける機会をプログラムに定期的に組み込むことで、広い場所で十分に身体を動かせる環境を整えたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3		3	中での様子をあまり知らない 実際を見ていないのでわかりませんが、よく見てもらっていると思います。	活動ごとに職員の役割分担（全体過行担当、個別サポート担当）を明確化し、全員に巨配りが行き届く安全な体制を徹底します。また、日々の支援体制を保護者様にも安心していただけるよう、共有する機会を大切にします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	4		3	活動内容によってスペースが分けれているので、何をするかがわかりやすく示されている。 情報伝達への配慮がされている	スケジュールカードやコーナー分け、イラストの提示といった「わかりやすい構造化」の取り組みを、今後も継続し、さらにアップデートしてまいります。また、利用初期の保護者様へのご説明や内覧の際にも、「どのように構造化し、配慮しているか」をわかりやすくお伝えする機会を設けます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	4		1	よく掃除もされていて、すごしやすい空間だと思います	日々の清掃や消毒を徹底し、清潔で安心感のある衛生環境を維持します。児童の人数やお活動内容（集団、個別学習、クールダウン等）に応じた空間づくりに努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	1			いろいろアドバイスをしていただいたり、相談にのっていただけています	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	28	3		2	支援計画に基づいて行われていると思うが具体的には見えない 合っていると思います	計画に基づいた日々の小さなステップや成果がより伝わるよう、日々の発信や共有のしかたを工夫したいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1			面談や連絡帳などで様子を伝えてもらっている よく見ていただいた上で作成されていると思います	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	2		1	設定されていると思います	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1		2	行われていると思う	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2		1	様々な事を考えてしていただいてると思います	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	7	9	そういう機会はなかった 交流があればいいなと思う	公園・地域の行事や他事業所との合同イベント等を検討・企画し、無理のない形で地域社会や同世代の地域児童と触れ合える機会を増やすよう、取り組みます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1			説明ありました	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33				説明ありました	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	6	9	そういう案内は無かった。 研修会は今まで無かったが、情報共有はしてもらえてる。研修会もあれば良いなと思う。	ご家庭での関わり方のヒントや発達特性に関すること等、保護者様向けミニ講座、座談会を企画・ご案内していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32	1			送りの時に話をして共通理解はできている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33				送りの時にアドバイスや相談にのってもらえる	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1			親身になって相談や支援をしてもらえる	

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	10	9	9	兄弟参加や保護者同氏の交流する機会を作ってほしい 保護者同氏の交流の機械があればいろいろ相談する機械があれば良いなと思います。 運動会等でそういう機械もあればいいなと思う	祝日イベント日や長期休暇等を利用した「ご家族・ご兄弟参加型イベント」を企画・実施します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	3		1	迅速な対応をしてもらえる	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	3			もう少しlineで写真の共有を希望 連絡帳や送迎時に教えてもらっている できていると思います	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	3	1	1	SNSで発信されているのを見れる SNSで個人情報守られつつ、服装等で我が子はわかるので、どんな活動をしてるかが見えてありがたいです。子供もその写真をみてどんな感じかを話してくれるのも嬉しい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4		8	時々避難訓練をした事を聞いて、子供の様子やその時にどんな事を学んだかを伺える。 入所時に説明ありましたが、実際を見れてないので不明	日々の活動の中に取り入れて実施、送迎時に活動報告していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	3		5	必要と思いますが、しているか不明 避難訓練はされていると聞いています	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	25	1		7	されていると思います	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	2		3	子供同士のささいな揉め事でも伝えてくれます。その際に注意するだけではなく、こういう時にどうしたらいいかを、一緒に考えてくれている事が見えてありがたいです。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	1			見守りもよくして頂いているので安心して通っています	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	3			仲の良いお友達ができて毎日楽しいようです 楽しみに通わせていただけている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	1			いろんなことを考えて支援してもらえてると思います	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ＥＬＥＶＡＲ亀岡	公表日	2026年　10月　24日	回収数	5

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	人数や活動、年齢層によって使い方を変えており、状況によって相談室も活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	状況により職員の配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	視覚的な配慮や整理整頓された空間を心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	物品の整理、朝晩の清掃を実施。	物の置き場所など工夫・改善必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	4	毎朝のミーティング、月に一度の合同会議を実施中。	個別ではできているが、全体で話し合う機会も必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	今後の支援の工夫や運営体制を見直す際の参考として大切に活用しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々のミーティング等、意見を言える環境が設定されている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		外部評価を受けていません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		職員数の問題もあり、十分とは言えない
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4	毎朝のミーティングで申し送りを実施。	統一しきれていません
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当が立案・児発管がチェック 担当と打ち合わせをし、適切なプログラムになるようにしている	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		人員配置的に個別支援活動が難しい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	業務後の振り返り、次の日のミーティングで共有しています。	勤務時間的にその日のうちに出来ないこともある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		現状は該当する児童がいません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	4		まだ十分とは言えない状況
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		現状では機会がなく、実施できていないので、今後の課題としています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		現状では参加できていませんが、今後機会がありましたら参加できればと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		現状は個別の面談までしかできていませんが、今後取り入れていければと予定しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	イベント時に保護者も参加できる機会を増やしていきたい。	保護者向けの学習会や交流会の機会を増やしていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		地域との連携を図る機会が今後作っていければと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3	日々の活動の中に取り入れて実施、送迎時に活動報告していこうと思います。	家族への周知ができていません
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	4	BCPの見直しと、子供たちの活動踏まえて訓練の実施をしている状況です。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食事、おやつに関してはアレルギーのある子は保護者の指示に従って別で食べています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		